

③工事中の排水計画

工事の2年次～6年次における年次毎の排水区分を設定した。工事中の雨水は、施工段階毎に浸透ゾーンⅠ、Ⅱ、Ⅲ、南側仮設調整池の4つのいずれかに排水する計画とする。

また、カラ岳の切削については、本体工事と同様な発生源対策を行い、濁水処理対策については、施工を行う土工2年次に空港本体の浸透ゾーンⅢに濁水を導くものとする。

工事中（工事段階毎）の流域面積及び流出係数を表-6.1.1(6)に、年次毎の排水計画を図-6.1.1(6)に示す。

なお、流出係数は、技術基準・文献・流量観測値による検証結果を勘案し、工事前後の地質・地表状況毎に、表-6.1.1(7)に示す0.1～0.9の値を用い、面積按分にて平均流出係数を算出した。